

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月14日

【四半期会計期間】 第63期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社フジマック

【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 俊範

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 経理部長 野原 国弘

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 経理部長 野原 国弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第2四半期 連結累計期間	第63期 第2四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	14,197,471	13,634,345	30,199,181
経常利益 (千円)	322,804	522,816	1,233,728
四半期(当期)純利益 (千円)	135,021	246,558	723,760
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	87,715	216,363	684,860
純資産額 (千円)	7,736,666	8,484,638	8,333,810
総資産額 (千円)	21,741,262	21,975,229	22,940,252
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	20.60	37.62	110.44
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	35.6	38.6	36.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,084,763	1,779,336	1,220,760
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	155,324	74,326	297,454
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	345,516	30,497	710,200
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	4,796,379	6,136,052	4,433,686

回次	第62期 第2四半期 連結会計期間	第63期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	30.74	31.14

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第62期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災による停滞から徐々に回復の傾向が見られたものの、一方で欧米の景気減速や急激な円高の進行による企業業績の悪化が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ最大の得意先であるレストラン・ファストフード等の外食関連産業も、個人消費が依然として低調で厳しい状況で推移しており、当社グループにとりましても設備投資需要が伸び悩むなど、厳しい経営環境が続いております。

このような情勢の下で、当第2四半期連結累計期間の売上高は136億3千4百万円（前年同期比4.0%減）となりました。利益面では、売上は前年同期比で減少したもののコスト削減等の効率化に努めた結果、経常利益は5億2千2百万円（前年同期比62.0%増）、四半期純利益は2億4千6百万円（前年同期比82.6%増）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり単一のセグメントであります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態については、総資産は売上債権の減少等により、前連結会計年度末比9億6千5百万円減の219億7千5百万円となりました。負債については仕入債務の減少等により、前連結会計年度末比11億1千5百万円減の134億9千万円となりました。純資産は前連結会計年度末比1億5千万円増の84億8千4百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ17億2百万円増加し、61億3千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は17億7千9百万円（前年同期は10億8千4百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7千4百万円（前年同期は1億5千5百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は3千万円（前年同期は3億4千5百万円の使用）となりました。これは借入金の増加が9千6百万円あった一方で配当金の支払が6千5百万円あったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、9千1百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ノヴァックス	東京都港区高輪1丁目27-37-1805	2,228	31.23
フジマック従業員持株会	東京都港区新橋5丁目14-5	609	8.54
株式会社フジマック	東京都港区新橋5丁目14-5	582	8.16
熊谷 俊範	東京都品川区	506	7.10
フジマック取引先持株会	東京都港区新橋5丁目14-5	269	3.78
熊谷 俊茂	東京都目黒区	217	3.05
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	215	3.01
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1丁目1-5	190	2.66
株式会社テーオーシー	東京都品川区西五反田7丁目22-17	86	1.21
岩間 秀雄	埼玉県志木市	41	0.57
計		4,945	69.31

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,552,800	65,528	
単元未満株式	普通株式 800		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,528	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,400		582,400	8.16
計		582,400		582,400	8.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,447,686	6,150,052
受取手形及び売掛金	7,678,296	4,892,593
商品及び製品	1,751,384	1,965,128
仕掛品	83,635	80,420
原材料及び貯蔵品	1,079,732	1,147,372
その他	735,127	609,866
貸倒引当金	38,921	22,219
流動資産合計	15,736,942	14,823,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,752,604	2,760,104
減価償却累計額	2,084,243	2,109,016
建物及び構築物（純額）	668,360	651,088
機械装置及び運搬具	2,808,354	2,800,071
減価償却累計額	2,370,719	2,389,265
機械装置及び運搬具（純額）	437,634	410,805
土地	3,821,848	3,821,848
その他	1,274,836	1,292,912
減価償却累計額	1,169,195	1,184,438
その他（純額）	105,640	108,474
有形固定資産合計	5,033,484	4,992,216
無形固定資産	26,182	26,008
投資その他の資産		
投資有価証券	667,635	716,676
その他	1,667,193	1,608,151
貸倒引当金	191,185	191,036
投資その他の資産合計	2,143,643	2,133,791
固定資産合計	7,203,310	7,152,016
資産合計	22,940,252	21,975,229

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,611,675	7,451,546
1年内返済予定の長期借入金	493,168	490,408
1年内償還予定の社債	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	233,447	216,674
賞与引当金	324,859	266,384
役員賞与引当金	10,402	5,201
製品保証引当金	76,600	79,000
受注損失引当金	36,000	-
その他	1,081,602	1,083,283
流動負債合計	11,867,755	10,592,497
固定負債		
長期借入金	1,015,299	1,114,092
退職給付引当金	291,363	342,403
役員退職慰労引当金	289,614	299,188
その他	1,142,408	1,142,408
固定負債合計	2,738,685	2,898,092
負債合計	14,606,441	13,490,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	4,655,802	4,836,824
自己株式	441,299	441,299
株主資本合計	6,834,018	7,015,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,222	44,649
土地再評価差額金	1,567,748	1,567,748
為替換算調整勘定	83,178	142,800
その他の包括利益累計額合計	1,499,792	1,469,597
純資産合計	8,333,810	8,484,638
負債純資産合計	22,940,252	21,975,229

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,197,471	13,634,345
売上原価	9,777,656	9,107,593
売上総利益	4,419,815	4,526,752
販売費及び一般管理費	4,101,759	4,018,914
営業利益	318,056	507,837
営業外収益		
受取利息	3,469	1,182
受取配当金	7,906	8,100
受取手数料	26,721	29,287
受取賃貸料	12,811	8,874
その他	26,293	35,195
営業外収益合計	77,201	82,640
営業外費用		
支払利息	26,024	21,772
持分法による投資損失	29,325	-
為替差損	4,802	32,488
その他	12,301	13,400
営業外費用合計	72,453	67,661
経常利益	322,804	522,816
特別利益		
固定資産売却益	156	161
貸倒引当金戻入額	5,900	-
移転補償金	10,673	-
特別利益合計	16,730	161
特別損失		
退職給付費用	-	66,386
固定資産除却損	1,460	2,264
投資有価証券評価損	19,336	758
関係会社整理損	12,536	-
その他	12	317
特別損失合計	33,346	69,726
税金等調整前四半期純利益	306,188	453,252
法人税、住民税及び事業税	125,619	172,657
法人税等調整額	45,548	34,036
法人税等合計	171,167	206,694
少数株主損益調整前四半期純利益	135,021	246,558
四半期純利益	135,021	246,558

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135,021	246,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,262	29,427
繰延ヘッジ損益	28	-
為替換算調整勘定	36,072	59,622
その他の包括利益合計	47,305	30,194
四半期包括利益	87,715	216,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,715	216,363
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	306,188	453,252
減価償却費	133,394	123,156
受取利息及び受取配当金	11,375	9,282
支払利息	26,024	21,772
持分法による投資損益（は益）	29,325	-
固定資産除売却損益（は益）	1,316	2,420
投資有価証券評価損益（は益）	19,336	758
移転補償金	10,673	-
売上債権の増減額（は増加）	529,305	2,840,485
たな卸資産の増減額（は増加）	287,030	284,056
仕入債務の増減額（は減少）	324,192	1,206,232
その他	76,423	39,668
小計	1,136,427	1,981,942
利息及び配当金の受取額	10,743	8,577
利息の支払額	25,506	21,871
法人税等の支払額	45,550	189,552
法人税等の還付額	26	241
移転補償金の受取額	10,673	-
移転費用の支払額	2,050	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,084,763	1,779,336
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	6,000	6,000
定期預金の払戻による収入	-	6,000
有形固定資産の取得による支出	117,266	87,601
投資有価証券の取得による支出	3,104	3,133
非連結子会社に対する貸付による支出	10,000	-
その他	18,953	16,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	155,324	74,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	600,000	-
長期借入れによる収入	563,440	365,697
長期借入金の返済による支出	256,528	269,664
配当金の支払額	52,428	65,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	345,516	30,497
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,258	33,142
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	564,663	1,702,365
現金及び現金同等物の期首残高	4,231,715	4,433,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,796,379	6,136,052

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。
当社は、平成23年7月15日の労使合意により、平成23年10月2日に現行の税制適格退職年金制度から確定拠出年金制度及び前払退職金制度へ移行しております。移行に当たっては、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。
また、「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号)に従い、本移行に伴う影響額を、当第2四半期連結累計期間の特別損失に「退職給付費用」として66,386千円計上しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次のとおり金融機関からの借入金等に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
富士マック? 有限公司	5,630千円	富士マック? 有限公司	5,040千円
福喜マック貿易(上海)有限公司	122,514 "	福喜マック貿易(上海)有限公司	118,670 "
計	128,144千円		123,710千円

2 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	215千円	480千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
給与手当	1,746,277千円	1,747,877千円
賞与引当金繰入額	219,702 "	218,763 "
役員賞与引当金繰入額	5,451 "	5,201 "
退職給付費用	274,371 "	254,950 "
役員退職慰労引当金繰入額	10,675 "	9,573 "
貸倒引当金繰入額	31,712 "	"

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金	4,810,379千円	6,150,052千円
預入期間が3か月を超える定期預金	14,000 "	14,000 "
現金及び現金同等物	4,796,379千円	6,136,052千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	52,428	8	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	65,535	10	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	20円60銭	37円62銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	135,021	246,558
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	135,021	246,558
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,584	6,553,584

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社フジマック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 原 田 誠 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 高 橋 正 伸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。